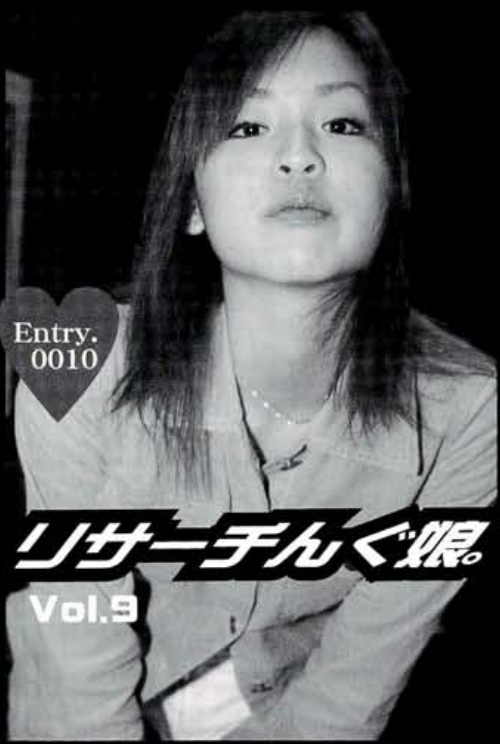


文 エリートライター『G』=dt 取材協力:truth planning

「京都版モーニング娘。」の早期実現を果たすべく、企画当初から福山のサポートを担当するライター兼エリートサラリーマン。本企画もいよいよって全国区に発展しそうな予感！？とうご期待！というところで気合を入れて今年1発目第9号ダッ！



Entry. 0010

リサーチんぐ娘。 Vol.9

藤井 公恵 ふじい きみえ

1984.12.26生まれの18歳 身長163cm B80.W62.H88
「まちで高3？」って突っ込みたくなるほどお色気マンマンな18歳。撮影3分にして飛び出したに流し目には、スタッフ一同唖然。・・・「お父さん泣くでえ〜」。

正月ムードもすっかり抜けた1月某日。本企画Pの福山から1本の連絡が入った。「オレ今月スタジオこもりつきりだからさあ、リサ娘。やっというよ。んじゃあヨロシク！」。京都OP本誌での執筆という表舞台に立てるまたとないチャンス。逃すこと無かれ！目指せ「おちまと」！目指せ年収3000万！

取材決行日。寒中彷徨うこと8時間。発掘部隊此の陣頭指揮を執るも空回り。街角スナップすら許さない女の子たちからは「三十路やろ！」「写真はイヤ！」「なんか、キモい！」の散々の罵声。参観の礼で撮影の許しを得て帰路についたのは夜12時。企画Pへの道は、花道ではなく棘の道である事を噛み締めさせられたのだった。 to be continued...



Entry. 0011

Entry. 0012

中田 喜和子

なかた きわこ
1986.8.24生まれの16歳
身長153cm B80.W58.H78

初田 恵那

はつだ えな
1986.10.8生まれの16歳
身長159cm B82.W60.H81

揃ってディズニーとHAPPYにハマリ中（アンパランス!?）という超仲良し2人組。インタビュウ中の年口トークとは一転、スナップ撮影となるとフリーズする笑顔はまだまだ隠れないシャイな高1。

はやりものチェック

ディズニーランドでの現地限定販売ケータイストラップ（8000円程度）。昔の中に最新ストラップ数あれど、TDLオフィシャルとなれば超お宝！同様のタイプは「入手必死のレア物です。」（産地チャン談）

現在「リサーチんぐ娘」の11月編制作中。11月でしか見られないPHOTO撮影。高層投票制による特別企画も予定！費チエキラ！

PROFILE 1958年、京都生まれの着身リターンサーファーで企業キャラコレクター。雑誌編集長をしつつ、日夜ペンネームにて町を徘徊しては、下世話ネタをあさっている。特技：若づくり
<http://www.m21.or.jp/fame/aikuru>

43

CIAOPANIC
ワー君

120mm



誕生日: 2000年8月
名前: 「CIAOPANIC WORKS」という自社ブランドの立ち上げにあたりキャラクター、ブランド名「チャオパニックワークス」のワークスからワーを取って「ワー君」に命名。因みに彼女の名は「クス美」ちゃん。解かるよねー！
身長: 120mm（あくまでもしで配られたお着立ての人形のサイズ。素材はアルミ）
生みの親: アートディレクター 白井亮 デザイン イラスト 小島山陽子（共に広瀬節）
性別: 凄くしていつまでも少年の心を持ったビュアな男の子。宇宙飛行士になるのが将来の夢。彼女のクス美ちゃんをとっても愛している。
年齢: 不詳
活躍登場アイテム: 「チャオパニック」の広報のためのサブキャラの役目を担い、ポスターやポストカード、商品プリントや職人フォーム、ノベルティグッズ、HP [<http://www.ciaopanic.com/>]にも特出発表に登場する。



今回は去年の11月、河原町OPAから寺町通りは六角にはなばなく移転、かつグランドオープンを果たした「チャオパニック」でのレセプション事件！のお話。こいつにはノーマーク、1本とられちゃったねー。ちょっと野暮用でたまたま出席できなかつたりした時にかぎってこんなことが起こっちゃうからああ悔しい。うちのスタッフとくりゃー、おいらがこの手のキャラには目がないつうのを知ってて、なんともまあ可愛い坊やのお人形をいとも平然と持って帰って来るんだから「キッスマイ・アス！」の大憤怒。「何々それぞれ一体どこでどーちたの！」ってうらたえのたまくあちきの前で「レセで買ったノベルティっす」ってそんな軽々しい言い方許せる訳にはまりません。「あ〜そう、そうなの、そっちがそうなら、こっちも考えあるからね〜」と大人げなんか微塵もな〜い、手段を選ばぬおいらの戦法、編集特権ふりかざし「チャオパニック」の大阪本社とくれば、株式会社パルのプレスに電光石火の早電話。泣くわ、わめくわ、

おだてるわ！脱ぐわ、すかさず、ゴマするわのしん手管の猛ラッシュ！ そんなおいらの気負いもまるで赤子があやされるように担当の小野山嬢の優しいお声には脆いちゃった。「そんなに気に入って下さってるなら一つ位は差し上げます」あーこの世知辛い世の中に、救いの神様、仏様。「チャオパニック」のセレクトショップとしてのブランドイメージのご様子からか、きっとマックエイジがデザインするところの次世代キャラと察すると思いきや、そこはかたなくレトロフューチャーな愛くるしさも漂っており、「これって何かにインスパイアされました？」と彼女に尋ねると、案の定のおネタ元、ミッドセンチュリーは60年代のあちらのマンガキャラを見たのがヒントとか。何はともあれ一番おったまげたことあ、この坊や、プレスの窓口で一生懸命応対して下さった、小野山さん自身が描き起こしたキャラだったつうこと。いやはや脱帽ものです！

自称「思い込みが激し過ぎるライター」
中尾が、日常に潜んだ謎や疑問を勝手に解釈、説明するアナーキーコーナー…！

オートチュール入門！

足が太い→合う服がない→デブは服を選べないのか？
→キレる→こうなったらオーダーメイドだ！

推定ライトスクラブ



一旦口火を切れば3時間、服について語りを入れる岡本氏。炎の魂をもつデザイナーとは、巻では彼のこと

自慢じゃないが私の足はかなり太い。年老いた祖母は「おまえ、足が、足が腫れる…」と心配し、デパートの試着室では毒ガスを受けた四人のように、毎度もだえ苦しんだ。なぜ私こんな目に…。人間の下半身はS・M・Lだけなのか？「そうよ！友人ののなら作ってしまえ、ホトギス。オーダーメイドにしてやるわっ」。友人の紹介で駆け込んだのは、二条東洞院の「ポルテラーノ」。天下のミラノコレクションにも出展する岡本圭司氏のブランドショップである。な〜んで書くとオートチュールっぽいけど、ところがどっこいパンツなら2万7千円ちょいで仕立てしてくれる。というのも、「オートチュールは本来、一人の顧客のために生地から織るほど手の込んだもの。でも、それだけコストもかかるでしょ。僕はデザインも着心地もコストも全て満足してほしい」。うっ、泣かせるじゃないの。「足はより長く、より細く！尻は小さく、ムチムチにならないように！」と無茶なオーダーを基に生地を選び、採寸、仮縫いで1週間、出来上がりまで2週間。ああん、楽しい。そうよ、服に選ばれるなんてナンセンス。だって、私あつての服なんども〜ん。

●ポルテラーノ 075-213-7657